

危険物施設総合研修訓練

事故防止調査研修センター

世代交代により、危険物施設の火災を経験した消防職員、自衛消防隊員等が減少傾向にあります。一方、危険物やガス火災の大規模な消火訓練は、さまざまな制約で実施困難な状況にあり、危険物施設等の火災への対処が各方面で憂慮されています。

そこで当協会では、危険物などの災害に際して最前線で活動される方々を対象に、輻射熱体験と危険物災害に関する知識の習得を目的とした研修・訓練を、平成25年度から開催しております。今年度は、5消防本部より9名、防衛省より1名、15事業所より22名の合計32名の方が受講されました。二日目の訓練は晴天の秋空の下で行われ、全ての訓練を無事実施することができました。

本研修訓練の内容は、過酷な輻射熱からの安全確保及び危険物等の火災の鎮火に至る過程の体験、危険物災害の基礎知識に関する講義、図上訓練による危険物災害発生時の状況予測能力の向上や安全管理能力の習得等となっており、危険物災害に対処する際の安全かつ適切な消火活動に役立つものと、好評を得ています。

- 1 実施日 : 平成30年11月1日(木)、2日(金)
- 2 実施会場: ① 研修 危険物保安技術協会(東京都港区虎ノ門4-3-13)
② 訓練 海上災害防止センター防災訓練所(横須賀市及び第二海堡)

研修・訓練の状況



図上訓練



ペーパー回収装置消火訓練



タンクローリー火災消火訓練



油貯蔵タンク火災消火訓練

研修訓練の内容

研修訓練の項目と概要

項目	研修・訓練（第1日目）	消火訓練（第2日目）
概要	<ul style="list-style-type: none"> ●危険物等の災害に関する基礎知識について 火災と燃焼・危険物の性状 危険物施設火災活動事例 ●危険物施設における災害を想定した図上訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ●消火器訓練 ●基本消火訓練 ●ペーパー回収装置消火訓練 ●角タンク（オープンタンク）泡消火訓練 ●タンクローリー火災消火訓練 ●油貯蔵タンク火災消火訓練

受講された方々の声

- 図上訓練では他の業種の方の意見を聞けてとても参考になりました。
- 実プラントの模擬設備を使用した訓練は有益であった。
- 火災発生箇所の周囲を冷却することの大切さや、チームワーク・指揮が重要であることを体験しながら学ぶことが出来ました。

※来年度の実施時期等については、本年 8 月頃にホームページでご案内する予定です。